



## 月1回の清掃活動を実施 桜の名所として町民の憩いの場に

8月20日(日)、昭和49年度持留小学校卒業生が、四季の森の清掃を実施しました。

同卒業生は、令和3年4月に、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった同窓会の代わりに、卒業生で寄付を募り桜を購入し、持留地区農業構造改善センターに8本、四季の森に22本植えました。その管理として、桜並木や周辺の清掃を毎月1回実施しています。当日は7名が参加し、清掃活動の後にお茶を飲みながら世間話を楽しんでいました。

実行委員の徳永浩一さんは「地元にあるこの四季の森を多くの方に知ってほしいと思い、桜並木にしました。桜の名所になって皆さんの憩いの場になれば」と話されました。



## 元気に帰ってきてね！ ウミガメの放流

8月22日(火)、横瀬海岸において、大丸小学校の児童約30名とその保護者約30名が参加し、ウミガメの放流会がおこなわれました。

同校の校内にはウミガメ用の孵化場が設置されており、毎年ウミガメの観察と放流を実施しています。

4年生の梶丸幸乙さんは「可愛かった。お世話したウミガメが元気に泳いでいって嬉しい。大きくなって大崎の海岸でたくさんの卵を産んでほしい」と話してくれました。

放流した171匹のウミガメは波に押し戻されたり、ひっくり返ったりしながら、参加者が見守る中、大海原に旅立っていきました。

